

第五回 荒川区区政改革懇談会

グループ討議会議録：山吹

【日時】

11月7日（水）13:30～16:00

【場所】

荒川区役所 305会議室

【次第】

ステップ1：はじめに

ステップ3：今日の話し合いの結果を確認しよう

ステップ2：中間発表に向けた内容を話し合おう
ステップ4：その他

ステップ1：はじめに

【前回の話し合いの内容確認】

コンサルタントにより、今日の話し合いの内容説明、前回の話し合いの内容確認、議事録の確認がなされた。議事録の「区政」の1行目「区の遊休施設を資産として考え、有効活用してほしい。」の部分の変更が提案され、区の資産としては「施設」だけでなく、「土地」と「備品」も加えることとなった。

今回は11月23日の中間発表資料の確認・修正について議論することとなった。

ステップ2：中間発表に向けた内容を話し合おう

【中間発表の方法について】

- ・ 中間発表の説明方法として「話し合った内容をすべて説明する」「重点をしぼって説明する」「他のグループが取り上げたものは除き、山吹で話し合われたことを説明する」が考えられるが、「重点をしぼって説明する」こととなった。
- ・ 資料のボリュームがあるためレジメをつくることとなり、今日の議論を踏まえ、後日調整することとなった。

【全般】

- ・ 窓口が広がりすぎて焦点が絞れなくなっているが、中間報告をすることで、各グループの焦点が絞れるかもしれない。また中間発表の流れの中で、各グループの特色が明らかになっていくかもしれない。

【産業・経済、観光】

- ・ 活用すべき点の、「観光の目玉となる資源はないが、……」を「観光の目玉はないが、……」に変更する。
- ・ 「技術の伝承と産業としての活性化・後継者の育成が必要である。」を「技術の伝承と産業としての活性化、後継者の育成、零細企業対策が必要である。」に変更する。

- ・ 匠の心を伝承するものづくりのまちの、「後継者の育成」の部分で「ものづくりの大切さを教える」くらいにし、「小学生、中学生に教える」「小・中学生を伝統工芸製造所に体験入学させる」等を加えてはどうかの意見があったが、伝統工芸従事者は、体験入学等は受け入れてくれない状況もあるため、変更しない。
- ・ 匠の技術の継承と情報発信に、「学校教育を活用して、ものづくりの大切さを情報発信」を追加する。
- ・ 目玉となる観光資源の発掘・整備に「これまで観光資源とならなかった都電を入れるのはどうかと思う」の意見があったが、「都電」は荒川の重要な観光資源と思う」の意見があり、現状のままとする。
- ・ 都市型観光産業育成に関する部分の、目玉となる観光資源の発掘・整備に、「地域住民の連携による資源の発掘とPR」を追加する。
- ・ 都市型観光産業育成に関する部分の、情報発信・PRの積極的展開に、「既存の資料やパンフレット等の活用」を追加する。

【まちづくり】

- ・ 改善すべき点の「また細街路がなくなるなど、……」を、「また細街路の一方が閉鎖され袋小路になるなど、……」に変更する。
- ・ 安全・安心・快適なまちの実現の方策として、「安全で美しいまちづくり(たばこのポイ捨て禁止条例、放置自転車対策条例、広域化と区民の意識改革等の強化)」と集約する。

【教育、青少年の健全育成】

- ・ 教育委員会は区民と学校のパイプ役になるべきである。
- ・ 改善すべき点の内容は、全国的動向であるため「全国的な傾向であるが」を追加する。また「指導力の無い教師が増えている」を「教師の指導力のさらなる強化が必要である」に変更する。
- ・ 「授業の正常化」を「教育の正常化」に変更する。
- ・ 学校教育の正常化と子供の基礎学力の向上の、「教育目標の重点化と活動の評価の仕組みづくり」を、教育目標の設定に問題があるため削除する。
- ・ 青少年の行動に結びつく仕組みづくりと地域の指導力の強化の、「教員の声が届く……」を「教育現場の声が届く……」に変更する。
- ・ 青少年の行動に結びつく仕組みづくりと地域の指導力の強化の、「教員個々の判断で指導力が発揮できる仕組みづくり」は、決められた範囲内での教員の判断という趣旨だが、誤解を招くので削除する。
- ・ 青少年の行動に結びつく仕組みづくりと地域の指導力の強化の、「社会のルールを教える機会づくり」では弱いので、「社会のルールを教える機会の拡大強化」に変更する。

【区政】

- ・ 現状認識の「効率的な運営ができていない可能性があり、……」を「効率的な運営できていないと思われる点があり」に変更する。
- ・ 現状認識の「区民の声が十分に反映できる仕組みがなく、……」を「区民の声が十分に反映できていなく、……」に変更する。

- ・ 区民に開かれた小さな区政の実現に、「区民サービスの向上」を中柱にし、「総合相談窓口の充実」を加える。

【基本構想実現のために】

- ・ 基本構想を実現するための具体的な施策をもっとあげるべきではないか。
- ・ 荒川区へのダイレクトの提言と荒川区がこうあるべきでないという姿を示していこうというのが山吹の姿勢である。
- ・ 基本的考え方の、「……、そのためにはマネジメントシステムの仕組みが必要となり、……」を「……、そのためにはマネジメントシステムの仕組みを通じて、実行に移し、……」と修正する。
- ・ 「計画・評価・予算」に「実行」を加えてほしい。

ステップ3：今日の話し合いの結果を確認しよう

コンサルタントにより、本日の話し合いの内容の確認が行われた。骨子の作成、また、この資料の修正の確認等は中間発表者とコンサルタントで行うこととなった。

ステップ4：その他

【中間報告会の出席について】

本日の出席者は、全員出席予定ということが確認された。

中間発表会は、11月23日(水)の13:30より。